

内部監査報告書

確認	確認	受付	被監査部課		内部監査チーム		
							
作成日	平成29年7月21日		被監査課	文化会館			
監査日時	平成29年7月21日 13時30分～14時45分		被監査者	宮沢正隆			
内部監査員氏名	櫻井 毅 齋藤 浩		相互内部監査員 所属及び氏名	多摩川精機(株) 福岡健志			
指摘区分	章番号	指摘の内容					
マニュアル7.1 賞賛事項	8.2	緊急事態への対応として、H28年度は全館停電を想定し、職員を対象としつつ関係業者にも参加を求めて訓練を実施し、今年度も実施予定があること。特に、休館日が無いため全館停電状態での訓練の実施は、市民等の利用が無い時を選定して工夫ある訓練ができていていること。					
マニュアル7.2 改善の機会	①是正処置を要する改善の機会（不適合） → 様式9-4「改善の機会対策報告書」作成 ②被監査課に対する改善の提案 → 様式9-4作成不要						
①是正処置を要する改善の機会（不適合） ・是正処置は監査日から2か月以内に完了		なし					
②被監査課に対する改善の提案		【改善提案に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 なし					
マニュアル7.3 気づき事項 (軽微な文書上の不備等)		【気づき事項に対する処理状況は、翌年度の内部監査で確認します。】 環境目標の設定について、外部要因に影響されず独自の取組から成果が把握できる内容設定を工夫した方が良いこと（今年度1年の取組を検証して次年度の設定に反映されたいこと。）。					
マニュアル7.4 システム提案 (事務局への提案 具体的な解決方法を含む。)		<相互内部監査委員からの提案> ○環境側面に関し、新たに「安全衛生」の観点加わったが、これを環境影響評価にどう反映させるか全庁的な認識度を高めていく必要があること。 ○「リスクと機会」に関し、マニュアルでの扱い方等に曖昧さがみられる。この概念が機能するようにしていくこと。 ○新規格では、環境影響評価や順守評価の実施者には前規格に比し内容的にも専門的・法的な知識が求められており、これを市役所の各課長に求めても無理がある。教育訓練の工夫などで対応できるのかどうか研究が必要。					
その他の特記事項		<内部監査委員としてISO新規格の監査に取り組んだ率直な感想> 新規格導入と共に庁内では今年度から「ISO」を含め「庁内マネジメントシステム」の見直しが行われ、「ISO」では帳票類の見直し等があった。しかし、実際の取組には従来からの変革が感じられず、内部監査や研修会などの意義にも疑問を抱いた。課長等への負荷増大感とともに、内部監査期間は本来業務課題の協議日程調整にも支障が生じている。内部監査も含め実施意義が理解できるようなメリハリある取組となるよう、ISO事務局で更なる改善検討していただきたい。					
市民協働環境部長 処理欄	賞賛事項の水平展開	指示	確認				
	要 (否)						

【注】1 内部監査員は、監査実施後7日以内にチームリーダーに報告します。

2 この環境記録は、市民協働環境部長、事務局の確認後、各課で保管します。